



特定非営利活動法人アスクネット
2022年度 年次報告書

子どもと大人が共に学び、
共につくる社会を目指して

アスクネットのあゆみ

- | | | | |
|------|------------------------------|------|--|
| 1999 | 愛知私学教育ネットとして活動開始 | | |
| 2001 | 愛知市民教育ネットに改名
特定非営利活動法人格取得 | 2001 | 市民講師ナビ事業開始 |
| 2006 | アスクネットに改名 | 2004 | 全国教育コーディネーター交流会開催 |
| | | 2006 | 教育CSR事業
「アイシン環境学習プログラム」開始 |
| 2009 | 代表交代 | 2008 | 経済産業省
キャリア教育民間コーディネーター育成・
評価システム開発事業 |
| | | 2010 | 高校生公募型
「マイチャレンジインターンシップ」開始 |
| | | 2012 | 愛知県教育委員会委託
キャリア教育コーディネーター活用事業 |
| 2015 | 第5回キャリア教育アワード
経済産業大臣賞受賞 | 2015 | 高浜市 学習等支援事業「ステップ」開始 |
| | | 2016 | 名古屋市 学習支援コーディネート事業
「子どもの縁の下サポーター」 |
| 2017 | 5か年中期ビジョン開始 | 2018 | 教育関係者向けイベント「ENGINE」開始 |
| 2019 | 代表交代 | 2020 | 高校生探究プログラム「SPIRAL」開始 |
| 2021 | 認定NPO法人取得 | 2021 | 名古屋市子ども会アシストバンク事業開始 |
| 2022 | 2030ビジョン開始 | 2022 | 「ENGINE」東京会場 開催 |

ミッション・事業実施の方針

ミッション

地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが学びあい育ちあう共同体づくりを進める。そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り開き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

事業実施の方針

(1) すべてのセクターの人たちの学びのOSを更新する

主軸事業となる学校へのキャリア教育をより発展的に、またキャリア教育が持続可能に展開されるよう、学校内の体制構築に向けたサポートを行う。同時に、予測不可能なこれからの社会の中で、子どもにかかわるすべての人が、学び続ける必要性を感じ、学びあい育ちあい共に地域を創るよう、「学び」に対する概念を更新する役割を担う。

(2) 学校と地域をつなぎ、変革を促進するキャリア教育コーディネーターの育成

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会等、全国の教育団体と連携を図り、教育活動に対しての成果を可視化する。同時に、「若者がリードし、誰もが参画できる共創社会」の実現に向けた学びあいのコミュニティを創造し、人々の変革を促進するキャリア教育コーディネーターの育成、ネットワークの強化を目指す。

(3) 主体的な18歳の育成モデルの進化と誰一人取り残さない社会づくりへの取り組み

主体的な18歳を育成するために、インターンシップ事業やSPIRAL事業等を展開してきた。これらの経験を活かし、さらにより効果的に展開できるよう努めるとともに、機会格差を是正するため、一部の参加者を対象とするのではなく、必要と感じる子どもたちに広く届けられるよう、パートナーシップを活かした仕組みづくりを目指す。また、学習支援事業の活動から、今後も、子どもたちの声にしっかり向き合い、福祉的な役割も必要に応じて取組んでいく。

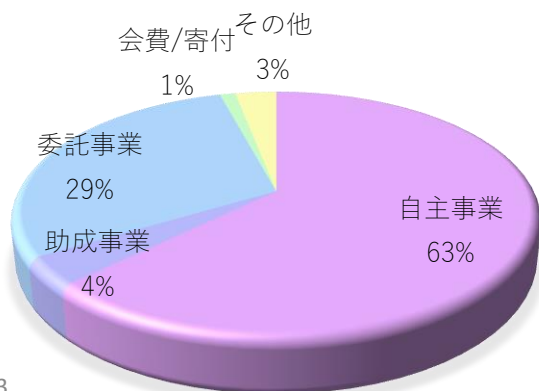
事業概況

2022年度事業決算

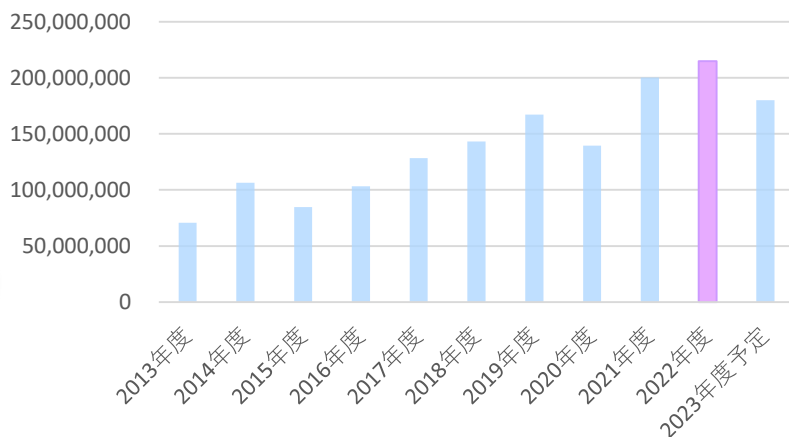
学びあい育ちあう共同体づくりに関する知識、経験の交流の場提供事業			
自主事業	市民講師ナビ事業	117,445,556円	p.4
	教育CSR推進事業	8,634,481円	p.5
助成事業	SPIRAL事業（三菱みらい育成財団）	8,000,000円	p.6
委託事業	学習支援事業（高浜市）	16,713,928円	p.7
	名古屋市中学生の学習支援事業コーディネート業務（名古屋市）	5,210,563円	p.8
	キャリア教育コーディネーター活用事業（愛知県）	14,087,040円	p.9
	モノづくり魂浸透事業（愛知県）	5,812,440円	p.10
	技能五輪国際大会招致機運醸成事業（愛知県）	859,100円	p.10
	五輪・アビリン理解促進事業（愛知県）	1,850,379円	p.10
	キャリアプラン早期育成事業（愛知県）	4,758,688円	p.11
	子ども会活動アシストバンク事業（名古屋市）	11,855,503円	p.12
	高校生企業取材サポート支援事業（安城市）	1,944,800円	p.13
学びあい育ちあう共同体づくりに関する行催事の運営協力事業			
自主事業	教育イベント推進事業	0円	
	教育団体協働推進事業	308,000円	
学びあい育ちあう共同体づくりに関する普及啓発、情報発信事業			
自主事業	キャリア教育コーディネーター育成事業	3,019,470円	p.14
	出会いと挑戦の教育普及啓発事業	5,352,705円	p.16
管理部門・その他			
	会費	794,000円	
	寄附金	1,664,603円	
	その他	6,550,811円	

計 214,862,067円

事業財源内訳



事業規模推移



事業概要説明

実際に社会で働く人に自分の経験や考えを共有してもらう職業講話や、仕事を通じた社会課題解決をテーマとした探究的な講座を実施しています。プログラムをより効果的にするための、ニーズに合わせたプログラムの企画や、年間を通じた授業カリキュラムの設計なども行っています。



インターンシップ実施校としては、今年度から名古屋高等学校、名古屋大谷高等学校の2校のコーディネートが開始となりました。

名古屋大谷高等学校は、2023年度より商業科1年生と2年生（全科）で取り組むことが決定しています。南山高等学校女子部も1年生の希望者から全員参加へと切り替わり、私立高校におけるインターンシップに送り出した生徒数は過去最高になりました。

担当者所感



榎谷 彩乃

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、全国で子どもたちの体験活動は大きく減少しました。2020年度、2021年度は、インターンシップを断念せざるを得ない状況にありましたが、本年度は、コロナ前の参加生徒数を上回る生徒数を送り出すことができました。この結果は、まだコロナ禍以前の状態に完全に戻っていない状況の中で、生徒の受入れをしていただいた事業所の皆さまのご協力と先生方の子どもたちへ想いに支えられてのことだと感じています。

インターンシップ

実施校数と参加生徒数

18校
2,103名

私立高等学校インターンシップ実施状況

【2022年度実施校】

愛知淑徳高等学校	愛知黎明高等学校
安城学園高等学校	市邨高等学校
桜丘高等学校	椋山女学園高等学校
誠信高等学校	聖霊高等学校
高蔵高等学校	黄柳野高等学校
東海学園高等学校	同朋高等学校
杜若高等学校	豊川高等学校
豊橋中央高等学校	名古屋高等学校
名古屋大谷高等学校	南山高等学校女子部

- 課題解決型インターンシップ
- 進路探究型インターンシップ
- 探究講座×インターンシップ
- PBL型学習×インターンシップ 等

中学校～大学における
社会人講座実施状況

27校
5,520名

教育CSR事業 (アイシン環境学習プログラム)

事業概要説明

アイシングループが「青少年育成の社会貢献活動」の一環で事業所を置く市町の小学校4, 5年生を対象に約半年間、森・水辺・くらし・産業の4つのテーマから選んでいただき、それぞれの学校で環境学習のお手伝いをしています。講座(座学)またはフィールドワーク(体験)→愛・シンパシーワークショップ→エコアクション→エコトークセッション(発表)という一連のプログラムを通じて、子どもたちのより深い理解を目指しております。

22校
1,825名



今年度はアイシングループ計10社と22校、1,825名の児童にプログラムを提供し、8月には愛・シンフォニーコース(プログラム実施校教員向けの研修会)を実施しました。

■支援企業一覧

株式会社アイシン
アイシン機工株式会社
アイシンシロキ株式会社

アイシン高丘株式会社
アイシン辰栄株式会社
アート金属工業株式会社

アイシン化工株式会社
豊生ブレーキ工業株式会社

アイシン開発株式会社
株式会社アドヴィックス

■実施校一覧

安城市立桜井小学校
蒲郡市立塩津小学校
西尾市立津平小学校
田原市立童浦小学校
豊川市立一宮西部小学校
豊田市立中山小学校

安城市立梨の里小学校
刈谷市立富士松東小学校
西尾市立花ノ木小学校
半田市立宮池小学校
豊川市立千両小学校
豊田市立根川小学校

岡崎市立美合小学校
刈谷市立双葉小学校
西尾市立三和小学校
碧南市立棚尾小学校
豊田市立飯野小学校
(順不同)

岡崎市立本宿小学校
上田市立東塩田小学校
知立市立知立西小学校
碧南市立中央小学校
豊田市立寿恵野小学校

担当者所感



荒井 直人

2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためリモートオンラインも活用しながら実施をしてきましたが、2022年度は、完全に対面型の授業に戻すことができました。様々な児童の気付きや環境に対する前向きな取り組みを再び学校現場でアイシングループの皆様方と見守ることができ、とても嬉しく感じました。今後も環境を切り口に「地域社会とつながる学習」をより良くするきっかけとして、多くの学校に関わってまいります。

事業概要説明

2020年度より、一般財団法人三菱みらい育成財団の助成を受け、高校生の探究プログラム「SPIRAL」を実施しました。高校生を公募し、医療・農業・伝統産業・テクノロジー・地球環境・フェアトレード・教育・まちづくり・社会福祉・多文化共生の10分野に関して、約5ヶ月間「2030年の未来」をより良くするための探究活動をおこないました。参加した高校生は、フィールドワークやインタビュー、アンケート調査等で、どのような社会課題があるのかを洗い出し、仲間と話し合い、解決策を導き出しました。



SPIRALでは、各分野のプロフェッショナルであるアドバイザー、生徒とアドバイザーの橋渡し役であるコーディネーター、生徒に近い立場でサポートを行う大学生サポーターが、生徒のチャレンジを応援し、伴走支援をおこないました。

高校生達は、「実社会で起きている社会課題」という正解のない問いに対して、様々な方と関わり、チームの仲間たちと共に試行錯誤しながら、自分たちなりの答えを出していきました。

3月に行われたChallengers Sessionでは、自分達が考えた2030年のめざす未来と自分達にできることを考え、最後には今後挑戦したいことを宣言しました。

担当者所感



兼子 榛奈

事業開始から3年目になる今年度は、イベントの開催やフィールドワークなど、高校生達の自主的なアクションがたくさん生まれました。参加した高校生の感想としても、「自分の世界や人脈が広がった」「自分が成長できた」「今後も行動を起こしていきたい」「自分の将来を考えるきっかけになった」等の声があり、今後のチャレンジのきっかけとなったと感じています。また、今年度は1期生が大学生サポーターとして参加したり、Challengers Sessionでは1・2期生と現役生との交流も生まれ、「Challengers Ecosystem（挑戦者たちの生態系）」の構築のきっかけになったと感じています。

参加高校生人数

Challengers Forum参加者
(社会課題に向き合う大人との出会い)

38名

Challengers Labo参加者
(高校生たちによる探究活動)

29名

伴走支援者人数

30名

アドバイザー10名
コーディネーター10名
大学生サポーター10名

学習支援事業 高浜市学習等支援事業 「ステップ」「ステップ・ジュニア」

中高生対象
「ステップ」

事業概要説明

高浜市在住の主に生活困窮世帯に属する児童生徒を対象とした学習等支援事業を実施しました。小学生対象の「ステップ・ジュニア」は毎週木曜日と土曜日に、中高生対象の「ステップ」は毎週土曜日に、高浜市いきいき広場で学習支援教室を開催しました。

全62回
登録**29**名
のべ**709**名参加



今年度も大学生ボランティアを中心に、子どもたちの学習をサポートしました。また、今年度はコロナ対策も意識しながら地域の方との活動を再開することができました。普段昼食や寄付などで子どもたちを支えてくださる地域の方に感謝の気持ちをお伝えするクリスマス感謝祭を、3年ぶりに開催することができました。準備の段階から子どもたちが協力し合い、たくさんのサプライズのあった会を実施することができました。

小学生対象
「ステップ・ジュニア」

全106回
登録**16**名
のべ**823**名参加

担当者所感



山本 夢

上記記載の通り、今年度は3年ぶりにクリスマス感謝祭を実施することができました。準備を進める過程で納得できないことが起こった時でも、一生懸命話し合いながら準備を進める姿に、子どもたちの成長をたくさん感じました。そして、参加してくださる地域の皆様にごりだけ「ステップ」という場が支えられているのかということをお自身も実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。学習ももちろんですが、学習だけでない子どもたちの成長の機会を今後も作っていきたくたいです。

名古屋市学習支援コーディネーター事業

事業概要説明

2021年度に続き、家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱えるひとり親家庭、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生を対象として、別に運営する「名古屋市中学生の学習支援事業」における学習支援事業受託者間の連携強化及び子どもの学習支援事業にかかるネットワークの構築をはかりました。なお、本事業は、株式会社スターシャル教育研究所とコンソーシアムを組み、「子ども縁の下サポーター」として運営を行いました。

学習支援の実施

27会場
1800名



2022年度も引き続き、27事業者が全150会場（定員1800名）で学習支援を実施しました。アスクネットは、学習支援の運営関係者や学習サポーター等を対象とした研修の実施を担当し、延べ432名が参加しました。講演形式だけでなく、参加者同士の意見交換や情報共有に重点を置き、新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン配信を行う等、研修の運営を行いました。

支援者向け研修

全9回
432名

- 事業実施責任者 連絡会 2回
- 運営責任者 研修会 2回
- 学習サポーター 研修会 3回
- 学習サポーター 交流会 2回
- 全体会 1回

担当者所感



仲井 達哉

今年度も昨年度に引き続き、オンラインとオフラインの併用にて研修を運営しました。併用の難しさを感じながらも多くの皆さんに有益な研修の機会を届けることを意識して講座運営を行いました。他地域の事例なども参考にしながら、より良い会場運営に繋げていってほしいと思います。

キャリア教育コーディネーター 活用事業

事業概要説明

愛知県教育委員会より指定を受けた県立高等学校18校をモデル校とし、キャリア教育コーディネーターを配置することで、モデル校におけるキャリア教育の促進を図ることを目的とした事業です。主に「インターンシップ等体験活動の連絡調整・企画・実施」、「教員を対象としたキャリア教育に関する研修会等への講師派遣及び企画・運営支援」、その他キャリア教育の支援を実施しました。

インターンシップ等
体験活動参加人数

18校
1,958名

学校名	参加生徒数	受入事業所数
惟信高等学校	248	87
五条高等学校	6	5
一宮南高等学校	61	18
瀬戸西高等学校	33	20
東浦高等学校	1	1
内海高等学校	0	0
三好高等学校	267	79
豊田東高等学校	20	12
豊田南高等学校	31	9

学校名	参加生徒数	受入事業所数
足助高等学校	10	8
碧南高等学校	4	3
知立東高等学校	710	24
高浜高等学校	24	10
御津高等学校	40	16
豊橋西高等学校	168	10
城北つばさ高等学校	0	0
守山高等学校	95	103
幸田高等学校	240	6



新型コロナウイルスの影響により、思うように体験活動ができなかった年が2~3年続きましたが、ようやく通常通りの体験活動を行えるような見通しが立ってきたところです。また、これまでモデル校の指定は3年間とされていましたが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、4年目の指定を受ける学校が出てきたのも、今年度の特徴です。

さらに、守山高等学校・幸田高等学校については、普通科全日制単位制に移行したこともあり、キャリア教育の一層の充実を図り、1年次には全員がインターンシップ等体験活動に参加することとなりました。この2校については学校側からのニーズも特に高いため、時限的な支援ではなく、本事業が続く限り支援を行う見通しです。

教員を対象とした研修会は、学校での開催を6回、すべての県立高校を対象とした研修を2回、計8回開催しました。探究プログラムを作成するワークショップや、生徒の自己肯定感を上げる方法といった多岐に渡るテーマで実施しました。



教員を対象とした研修
参加人数

8回
259名

担当者所感



加藤 淳子

今年度は「インターンシップ等体験活動」として認められる範疇が広がったこともあり、「総合的な探究の時間」での企業連携や、大学と社会を繋ぐプログラムなど、より学校のニーズに合った形で支援ができました。

本事業は、基本的には1つの学校において3年程度の支援を行い、その後は学校でプログラムを自走させていくイメージになっています。先生方にスムーズに引き継ぎを行うことや、コーディネーターがいなくともプログラムを実施できる体制づくりなどを意識して、今後も支援を行っていきます。

モノづくり魂浸透事業

(技能五輪国際大会招致機運醸成事業)

(技能五輪・アビリンピック理解促進事業)

事業概要説明

79回実施

3,802名

モノづくり人材の育成を目的とした「モノづくり魂浸透事業（学校派遣事業）」では技能尊重気運を高め、児童・生徒に技能者への憧れやモノづくりへの関心を深めることを目的に、技能五輪メダリスト等の技能者を県内の小学校、中学校及び特別支援学校へ派遣する「派遣講座」、および技能五輪・アビリンピックを目指す選手が行う練習の「見学会」を実施しました。



8年目の受託となるモノづくり魂浸透事業ですが、今年度は技能五輪選手の練習風景を児童生徒が見学に行く「見学会」の実施が充実しました。トヨタ自動車（株）や（株）デンソーなどの協力を仰ぎ、児童生徒はバスで選手の練習施設を訪問しました。直接技能五輪選手の熱意やひたむきに練習に励む姿は児童生徒にも伝わり、技能五輪全国大会へ応援しに行きたいという機運を盛り上げることができました。

関連事業である2事業（技能五輪国際大会招致機運醸成事業、技能五輪・アビリンピック理解促進事業）も拡大を遂げました。技能五輪国際大会の愛知県招致に向けて、若い世代を中心に広く招致機運及び技能尊重気運を盛り上げることを目的として、愛知サマーセミナーにてモノづくり講座を4講座実施し152名が受講しました。

技能五輪・アビリンピック理解促進事業は、来年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックが愛知県にて開催されるため、大会参加者の裾野を広げることを目的としました。県内の高等学校や特別支援学校（高等部）等において大会選手、指導者による講話、実演、実習指導等を行う出前講座を実施し、15校321名の高校生が受講しました。

担当者所感



安藤 仁美

一事例ですが、昨年度名古屋市立工芸高等学校建築システム科の高校生が講師となり、中学2年生を対象に行った木工講座で建築の楽しさを知り、受講生の一人が建築科の高等学校への進学を決めた、という事例を教えてくださいました。本事業は技能五輪・アビリンピックの啓発活動と共に産業人材を育成することが目的であり、その目的に向かって着実に進んでいます。中長期的な視点で捉えなくてはならない一方、目的に合った事業効果が挙げられているかという視点は常に必要だと考えます。

キャリアプラン早期育成事業

事業概要説明

キャリアについての意識づけを早期に行うために、各学校で教員との連携を図り、出前講座を実施しました。本事業は「愛知県 男女共同参画推進課」の事業であり、将来社会で活躍をする女性を増やす、という目的で行われています。そのため「男は（女は）こうあるべき」といった、無意識のうちに持っている「固定的性別役割意識」にとらわれない将来の選択ができるよう、各所と連携しながら講座を行いました。

また、キャリアについて考える「みんなの仕事応援ノート」を作成・発行し、各出前講座で活用したり、各校での配布を行ったりしました。

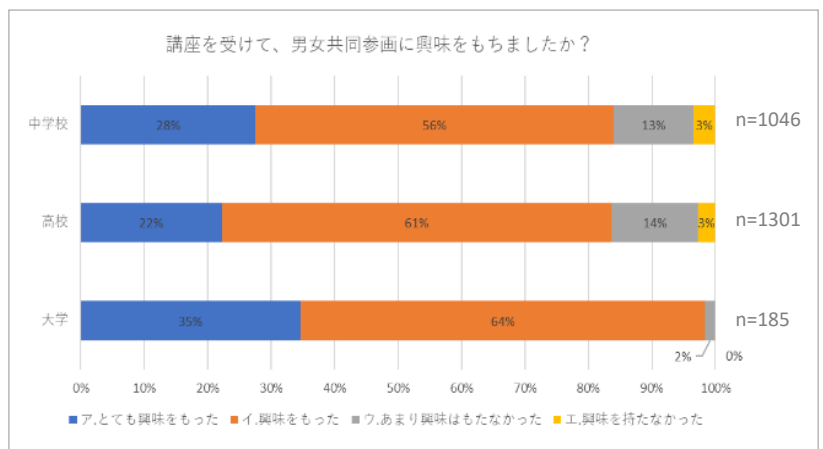
キャリア・男女共同参画に関する出前講座 参加人数

15校
2,823名



本事業では、中学校、高等学校、短期大学／大学と様々な校種において、キャリアに関する基本的な講座はもちろん、多様な考えがあることに気づく講座や、ワークライフバランスを実現しているロールモデルのお話をお聞きする講座など、学校のニーズに合わせた講座を実施しました。

講座後のアンケートで「男女共同参画」や「男女ともに活躍できる社会」に興味を持った学生・生徒が8割を超えました。「中長期的に継続して働く人材を育成する」という本事業の目的にも繋がったと考えています。



担当者所感



加藤 淳子

2021年度に始まった本事業。始めは、「子どもはフラットな目線だろうから、固定的性別役割意識なんてあるのだろうか」と半信半疑でしたが、子どもを取り巻く大人の考え方が、そのまま子どもの考え方に反映される傾向があることが分かりました。「固定的性別役割意識」を持つことは悪いことではありませんが、他者に押しつけると生きにくさを感じる人が増えていくのだと思います。一人ひとりが性別にとらわれることなく自分の特性や興味関心などを軸に将来を選べる社会を目指したいですし、一人ひとりの選択を後押しする大人でありたいですね。

名古屋市子ども会活動アシストバンク事業 (名古屋市委託事業)

事業概要説明

名古屋から、子どもと子ども会を中心とした持続可能なコミュニティプラットフォームの共創することを目的とし、名古屋市より事業を受託しました。

本事業は、「なごや子どもエンカレッジコンソーシアム」として株式会社ウィーケンと共に、運営を行っています。



充実した継続的出会いの創造、地域の信頼関係の構築、ノウハウの共有を目指し、子ども会行事運営を支える活動アシスタントや、子ども会向けに講座やプランを提供いただける方・団体を募集し、専用Webサイトや公式LINEにて紹介しました。子ども会からの相談に応じ、各子ども会の状況や課題感、要望に合わせて、活動アシスタントやイベント講師紹介などのサポートを行いました。

登録活動アシスタント及びイベント提供者を対象に、子ども会についての基礎知識や子どもとの適切な関わり方等、子ども会に関わる事前研修を2回実施し、また子ども会やアシストバンク事業について知っていただくために、地域の子どもの保護者にご参加いただける共創研修も2回開催しました。

担当者所感



榎谷 彩乃

コロナ禍でほとんどの行事が実施できなかった数年を経て、本年度は子ども会行事の復活を目指し、実施方法等を模索する役員の方からのご相談をたくさんいただきました。また、アシストバンクがサポートさせていただき実施した行事の紹介や、アシストバンクを活用された役員の方のお声の影響もあり、Webサイトを開設した昨年度に比べ、相談件数が大幅に増えました。

今後は、もともとある地域の資源や役員の皆様のアイデアを活かした活動のサポートが行えるよう、地域との連携強化や最適なサポートのための調査、サポート内容の更新に取り組んでいきたいと思っております。

相談件数

266件

活動アシスタント派遣

7件

イベント・講師紹介

13件

行事提供者登録数

61件

活動アシスタント

登録数 **20名**

事業概要説明

安城市より委託を受け、安城市のSDGs共創パートナーへの高校生によるインタビューの支援、ならびに安城市のSDGs特設サイトの管理やSDGs共創パートナー制度の登録などを実施しました。事業を通して次世代を担う高校生が「SDGs」について考えるきっかけを作ることやSDGs共創パートナー同士のつながりを創ること、また、安城市及びその周辺地域におけるSDGsの機運を高めることを目的としています。



19事業所
27名

インタビューは事前学習を実施をした後、夏に15事業所22名・冬に4事業所5名の参加者が行いました。事前学習では、SDGsに関するゲームを用いて理解を深め、インタビューへ向かう姿勢や取材の極意などを学びました。また、インタビュー後には読み手の目線に立つことを意識して記事の作成やプログラム全体の振り返りを行いました。高校生は「SDGs」という言葉はよく耳にしていたようですが、事前事後学習やインタビューを通して「SDGs」の本質や企業が行っている活動について学びを得ていました。

SDGs共創パートナー
登録事業者

190社

■生徒たちの感想

- ・実際にインタビューするのはとても緊張したけれど楽しかった。
- ・企業によってSDGsの取り組みは様々ですが、根本的には誰かや地域の為に取り組んでいることがわかりました。自分自身も他人事だと思わずに自分事として取り組んでいきたいです。

担当者所感



仲井 達哉

私自身もインタビューへ同行したのですが、企業活動の中でどうSDGsを関連させて事業運営を行っているのかについて学ばせていただきました。インタビューの中で自分自身が一番記憶に残ったことは、「SDGsに取り組もうと思って取り組んでいるのではなく、企業の活動の中で自然とSDGsに関連する活動になっていく。」という言葉です。この言葉がこの事業を通して社会に広く浸透した先に持続可能な社会が待っているのではないかと感じました。

来年度も高校生の学びと企業の取り組みについてしっかりと発信していけたらと思います。

キャリア教育コーディネーター育成事業 (キャリア教育コーディネーター育成研修)

事業概要説明

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会との連携の下、「キャリア教育コーディネーター育成研修」を実施しました。効果的な教育プログラムを学校に提供するために、座学（エントリーコース）と実践（実践コース）の両面から研修を実施しています。

名古屋
エントリーコース

21名
実践コース
19名

静岡
エントリーコース

4名
実践コース
2名



■エントリーコース（キャリア教育実践基礎講習：座学全4回）

キャリア教育コーディネーターの役割や学校教育についてなど、基礎的な事項をワークを交えて学びました。

第1回：キャリア教育コーディネーター概論	第2回：地域でおこなうキャリア教育と教育行政
第3回：児童・生徒等の発達とキャリア教育ではぐくむ力	第4回：キャリア教育のプログラム開発

■実践コース（10月開始、3月終了）

小学校1校、中学校3校、高等学校1校 計5校の協力校において、職業講話のコーディネートを実践しました。学校ヒアリングからご登壇いただく講師の開拓と打合せ、当日の実施支援など、コーディネートの一連の流れを体験していただきました。

全学校での実践が終了した後は振り返り会を実施。個々の学びを受講生全員に広げました。



担当者所感



加藤 淳子

本年度の名古屋会場は20名を超える受講生数となり、2010年度からの累計受講者数は200名を超えました。今年度の受講生は熱量が非常に高く、実践コースにおいては幾度となくチームで議論し、より良い講座のコーディネートを目指していただきました。

担当者として、この情熱を絶やさずに、継続していただくお手伝いができると思っています。ただ有資格者を増やしていくだけでなく、実践の場で活躍するキャリア教育コーディネーターを増やしていきたいですし、そのためのステップアップの場も、今後継続的に提供していきたいと思っています。

キャリア教育コーディネーター育成事業 (教育Reformセッション「ENGINE」)

事業概要説明

教育に関わっている方、関わっていない方関係なく、どのような世代・所属の方も、教育に関心を持つ方が「繋がり合い、一步踏み出す」場を目指し開催しているのが、教育Reformセッション「ENGINE」です。

2022年度は、3回目となる名古屋会場での開催(2回目は新型コロナウイルスの影響で開催中止)、また東京会場でも初開催を行いました。

2022.4.17
名古屋会場
107名

2023.3.12
東京会場
95名



ENGINEでは、ゲストや講師の方から情報を得るだけでなく、参加者のみなさんも一緒に、教育に関するご自身の活動や想いを語り合っていたく時間も設けています。それぞれのフィールドでこれからの教育をどう良くしていくか、ゲスト、参加者関係なく一緒に考えていきました。

<名古屋会場 Vol.3 実施概要>

- ・日程：2022年4月17日(日) 10:00~16:30
- ・会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち
- ・基調講演：
田村 学 さん
(國學院大學 人間開発学部 初等教育学科 教授)
『主體的・対話的で深い学び』の視点から、
これからの教育を考える

<東京会場 Vol.1 実施概要>

- ・日程：2023年3月12日(日) 10:00~16:30
- ・会場：立教大学池袋キャンパス
- ・基調講演：
鈴木 寛 さん
(東京大学 教授)
21世紀を生き抜く子どもを本気で育てる教育改革
～地域と学校の協働をどうすすめるのか?～

担当者所感



加藤 淳子

現時点で教育に関わっている、関わっていないは関係なく、参加者が想いを語り合ったり、後押しをし合ったりして、参加される方が勇気をもらえるような機会にしたいと思い、ENGINEを始めました。

「何かを始めたい」と思ったときに、孤独に始めるのと、仲間と一緒に始めるのでは全く心持ちが違うと思います。ENGINEで、同じ志の仲間を見つけていただくのも良いですし、違った価値観の方に出会って見識を広げていただくのも良いですね。ENGINEが、来てくださったみなさんにとって「一步踏み出す勇気をもらえる場」になるよう、スタッフみんなで場づくりをしていきたいと思います。

出会いと挑戦の教育普及啓発事業 (社会人スクール「SEL」)

事業概要説明

全8回
参加者
7名

新規事業となる社会人スクール「SEL」をトライアル開講をしました。これまで子どもたちにキャリア教育を提供してきましたが、大人になっても学び続ける場とするためスタートしました。

SELのコンセプトは、参加者の「生きる喜び」の実現に向けて、これまで身に付けてきた能力を広く社会で活用することを目的とした社会人向けスクールとなっています。また、将来的にはSELで学んだ仲間がつながり、集い、地域社会と結びつき、学びを還元していくプラットフォームとしていくことを目指しています。



SELではVUCAの時代を「自分らしく」生きていくために、大人になっても「学び続ける」姿勢と、「自己理解」などのワークを通して、これまでに学んだことを自分自身の仕事や社会に役立てるスキルを身につけることを目的としています。具体的には、「社会関係資本（ソーシャルキャピタル）」の概念を中心に、「社会感度（ソーシャルスキル）」、「未来志向」などを学びます。SELのゴールは、参加者自身が自らが取り組みたい社会課題のテーマを設定し、そこに向けて動き出すことです。その為に、最終回では今後取り組んでいきたいテーマについて発表し、互いにフィードバックを行いました。今年度はトライアル開催のためステージⅠのみの開講でしたが、次年度以降はステージⅡにて自己組織化を目指して行動に移していきます。

これからも「SEL」は、「ともに学びともにつくる」を実現するために、必要な人々が「学びつづける」ための装置となり、そこで出会った仲間たちのネットワークのハブとなっていきます。

担当者所感



仲井達哉

SELで届けたい思いとは、大人になっても学び続けることの大切さです。ある調査では、学びが止まりやすいのは20代~30代との結果が出ているようです。日々の忙しさから考えることを放置してしまいがちですが、自分自身と向き合い、問い続けることこそが学び続ける姿勢を持ち続ける秘訣なのではないかと思います。

また、SELの醍醐味はゲストや参加者の皆さんに熱量高く関わってもらえることだと考えています。そんな大人をSELを通じて増やしていき、ネットワークを作っていくことがより良い社会を作っていくことにつながるのだと思います。来年度より、本格的に始動するSELのこれからが楽しみです。

出会いと挑戦の教育普及啓発事業 (カーボンニュートラル講座)

事業概要説明

受講児童人数

10校

622名

LEGOLAND Japan合同会社、中部電力株式会社、トヨタ自動車株式会社の3社協働による出前授業のコーディネートに携わりました。

2050年までの達成を目指すカーボンニュートラル（CN）実現に向け、CNと未来のエネルギーについて考えてもらうきっかけを作りたいという3社の想いを大切にしながら、地球温暖化の仕組みや、CN実現に向けて企業はどのような取り組みをしているのか、小学校5,6年生に分かりやすくそして楽しく伝える授業を作りました。



前半はトヨタ自動車（株）による水素カロラーの紹介や、なぜ様々なエネルギーで走るクルマを開発しつづけているのか、子ども達に問いかけながら講座を行いました。その後中部電力（株）より地球温暖化やCNの考え方を分かりやすく説明し、地球にやさしい発電方法にも長所と短所があることを紹介しました。異なる分野の企業から地球環境を悪化させないための取り組みを学び、子ども達は深く聞き入っていました。後半はLEGOLAND Japan（同）が講師となり、未来のエネルギーをレゴブロックでキャラクター化するワークショップを行いました。うきうきした気持ちをエネルギーに変えるなど、子どもらしい柔軟な発想に溢れていました。

講座の最後に児童から「違うことをしている会社の人々が、この授業で一つになっていることが印象的でした」という声があり、3社がパートナーシップを組み、子ども達に明るい未来を引き継いでいきたいという思いはしっかりと届いていました。

担当者所感



安藤 仁美

これまで3社が1つの講座の講師になることというコーディネートはあまり経験がありませんでしたが、各社それぞれ子ども達に伝えたい思いが明確にあったため、受け手である子ども達の感情がどのように変化するかを想像しながら構成しました。

小学校5,6年生への講座でしたが、地球温暖化についてはほとんどの児童がニュースや授業等で理解をしており、CNについても聞いたことはある様子でした。豊かな日本と美しい地球を子ども達へ残すために、CNをはじめ大人の取り組みを子ども達に伝え考えるきっかけになるよう、教育の立場から今後も携わっていきたいと思います。

その他対外活動実績

■講演・講師等

国立大学法人愛知教育大学 キャリア教育論 ゲスト講師
愛知県立安城高等学校 総合的な探究の時間「SDGs 探究学習」講師
静岡西部四市新規採用職員合同研修 講師
あいちシルバーカレッジ専門コース 講師
愛知教育大学社会教育主事講習 講師

■委員

公益財団法人 山田進太郎D&I財団 STEM(理系)女子奨学助成金 選考委員
進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)外部評価委員
子どもの居場所づくり推進会議 委員
高浜市立南中学校 学校関係者評価委員
令和4年度子どもの居場所・学習・生活支援のつどい 運営コーディネーター
文部科学省 消費者教育推進委員会 委員
愛知県 まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 専門委員
名古屋市教育委員会「教育事務の管理・執行状況の点検・評価」にかかる有識者会議 委員
愛知県 「夏のDigi田甲子園」愛知県地区予選 選考委員
認定NPO法人カタリバ NPO法人ETIC ユースセンター起業塾 選定委員
文部科学省 令和4年度消費者教育フェスタ in 東京 パネリスト

アスクネットメンバー

代表理事 山本和男

スタッフ 菅原伸二 城取洋二 小柳真哉 肥田幹子 荒井直人 山田将人
原さおり 加藤淳子 山地佳奈 佐々木愛理 桑原都糸子 安藤仁美
櫛谷彩乃 山本夢 久世和賢 兼子榛奈 遠藤奈々美 森聡子
西井礼奈 高田郁弥 櫻井彩乃 杉原恵 杉本堅 仲井達哉
山本綾子 伊藤有紀 江崎利恵
(2023年度入職)
今村祥吾 榊原亜里沙 本田琳子 水谷早希 真下寛子

地域スタッフ 石川多恵子 内藤靖子 原敏夫 戸田千恵子
(2023年度入職)
塚田真由



ASK NET

特定非営利活動法人アスクネット (ASK-NET)

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町8-5 愛知私学会館東館3階

設立：1999年6月（2001年10月法人格取得）

TEL：052-881-4349

FAX：052-881-5567

MAIL：info@asknet.org

<https://asknet.org>